

# 令和7年度 第1回府中町廃棄物減量等推進審議会 会議録

日時：令和7年10月30日（木）13：30～14：50

場所：府中町役場 5階 第1委員会室

## 1 開会

## 2 町長あいさつ

## 3 委員紹介

## 4 （審議）府中町第2次ごみ処理基本計画の策定について

### 【質問・回答等】

会 長：4ページ、「協同型環境づくり」という表現について、「協同」を「協働」に修正すること。

会 長：4ページ、「協働型環境づくり」について、語句の定義及び具体的にどのような取り組みを示すのか教えてほしい。

事務局：住民・事業者・行政の各主体が一体となり、環境保全に向けた取り組みを推進することを示している。また、具体的な取り組みとしては、資料3「府中町ごみ処理基本計画【改訂版】年次報告書（令和6年度）」に記載している「取組番号27 協働による取り組みの推進」「取組番号28 住民団体、事業者との連携強化」が該当する。

会 長：現行計画の基本方針において「地域協働による環境づくりの推進」が掲げられており、同義の語句であるため、表現を統一することが適当である。

委 員：4ページ、町内会と連携した監視カメラの設置が行われているが、実際に不法投棄が摘発された事案があれば教えてほしい。

事務局：監視カメラによる不法投棄の摘発事案はない。なお、当町が委託している警備会社の巡回パトロールにおいて、有価物の抜き取りを摘発し、行政指導を行ったことはある。

委 員：現在の監視カメラの設置状況を教えてほしい。

事務局：監視カメラは、くすのきプラザ駐車場に隣接するごみステーションに1台常設している。その他、町内会への貸出用として2台常備している。来週から1台貸出予定である。

会 長：6ページ、雑がみの分別収集の開始年度を明記すること。

会 長：6ページ、山元還元は2021年度のみ実施されていたという認識でよいか。

事務局：ご認識の通り。

会 長：2021年度におけるリサイクル率の急増は、山元還元の実施による影響であることが明確であるため、「～が要因として考えられます」という表現は修正すること。

委 員：2021年度におけるリサイクル率の急増は、山元還元による影響のほか、雑がみの分別回収開始による影響もあるのではないかと。

事務局：雑がみの分別回収は2018年度から開始しており、開始後、リサイクル率が増加している。一方、山元還元は2021年度のみ実施した取り組みであり、2021年度におけるリサイクル率の急増は山元還元による影響が大きいと考えられる。

委 員：リサイクル率の増加について、雑がみの分別回収や山元還元以外の要因があれば教えて欲しい。

事務局：他の要因として、町内会が実施する有価物の集団回収の影響が考えられる。

会 長：10ページ、ごみ組成調査結果の円グラフについて、家庭系ごみと事業系ごみで色合いの整合を図ること。

委 員：一般的に事業系ごみに含まれるプラスチック類は産業廃棄物として取り扱われる。事業系普通ごみの中に含まれる容器包装プラスチックは、不法投棄に当たるのではないかと。

事務局：例えば、事業所等で排出される従業員の弁当容器等は、事業系一般廃棄物として取り扱われるため問題ないと考えているが、適正分別の推進に向けた更なる取り組みが必要であることは認識している。

委 員：安芸クリーンセンターや出島廃棄物処分場の稼働終了後における具体的な処理・処分計画があれば教えてほしい。

事務局：安芸クリーンセンターは令和14年度に稼働終了予定であり、来年度、安芸地区衛生施設管理組合において新たな施設の整備方針を決定するための検討業務を実施する予定となっている。また、出島廃棄物処分場については、施設の長期的な活用に向けた取り組みが必要であると考えられる。

委員：組成調査の結果を見ると、家庭系・事業系普通ごみの中には、分別対象品目が一定割合含まれており、更なる資源化の余地があると考えられる。このため、課題の方向性として、リサイクル率の向上に向けた更なる行動の促進といった観点も追加してほしい。

事務局：ご意見を踏まえ、課題の方向性について再検討する。

会長：課題、課題を踏まえた方向性、基本方針の連動が分かるようにすること。

事務局：ご意見を踏まえ、修正する。

## 5 （報告）府中町ごみ処理基本計画【改定版】の令和6年度年次報告について

### 【質問・回答等】

会長：報告書全体を通し、「～調査研究をします。」「～協議・調整します。」という表現が各所に見られるが、現行計画の期間内である令和7年度に取り組みを行うものと考えて良いか。

事務局：次期計画の期間内で順次取り組んでいくことを想定している。報告書における記載の表現を修正する。

委員：リチウムイオン電池の分別収集の開始時期を教えてください。

事務局：リチウムイオン電池の分別収集については、今年度検討し、来年度から開始する予定である。

## 6 閉会

以上